

○情報通信基盤の整備

後期高齢者医療制度の創設に伴い、広域連合と被保険者のデータ交換が必要となるため、医療支援システムの導入に併せ総合行政システムの改修を行います。

教育・文化の振興を図る

《「ふれあい豊かな文化創造のまちづくり」の施策》

○学校教育の充実

不登校の児童・生徒の学級復帰を支援するための相談員を新学期から配置し、家庭訪問や年間を通じた相談体制の充実を図るとともに、地域住民や連携大学の学生などのボランティアにより、一人ひとりのニーズに合わせた学校などの教育活動を支援する「学校サポートボランティア事業」を実施します。

また、小・中学校の校舎などの耐震対策については、耐震診断の結果に基づき計画的に整備改築を行います。その第一弾として平成19年度は、松前中学校体育館の改築に向け地質調査を行い、補正予算で設計などに係る経費を計上します。

○生涯教育の推進

地域づくりの核となる人材の育成及び公民館の新たな運営を図るため、平成18年度に4講座でスタートした町民自らが自主的に企画・立案・

運営する町民企画講座を、平成19年度は10講座を目標に本格的に実施します。

町民企画講座の実施



保健・医療・福祉の充実を図る

《「人ごやわしい健康福祉のまちづくり」の施策》

○障害者福祉の充実

障害者が自立した生活を送れるよう一体的・総合的に支援する事業に加え、新たに移動支援事業、日中一時支援事業、生活サポート支援事業を実施します。

○社会保障の充実

平成20年度に実施予定の後期高齢者医療広域連合の準備経費としての負担金と被保険者一人ひとりが保険証を所持でき、利便性が向上する、国民健康保険の被保険者証のカード化を実施する費用を計上しています。

○保健・医療活動の充実

近年、栄養の偏りや生活の乱れによる肥満、生活習慣病の増加などが大きな社会問題になっているため、食育推進基本計画を松前町の現状を踏まえ策定します。

産業・経済の振興を図る

《「活力ある産業のまちづくり」の施策》

○農業の振興

農業者の高齢化に伴い集落機能が低下し、農地・農業用水路などの地域資源が荒廃しつつあるため、用排水路の草刈、泥上げなど集落において実施する共同作業計画を策定した地域を支援します。

また、産地強化作物である裸麦の作付面積の拡大をめざし、農家が組合員となり設立した農事組合法人に対する利子補給を行います。

以上のような内容で編成しました平成19年度の当初予算総額は、

一般会計	85億1,281万5千円
特別会計	92億7,680万8千円
水道会計	6億9,139万9千円
合計	184億8,102万2千円

となっております。

なお、平成19年度当初予算の内容については、5月号でお知らせします。